



タンザニアにおける事業展開と人材育成

2022年3月3日

セントパーツ株式会社

種谷 謙一

会社概要

会社名:セントパーツ株式会社 設立年月日:2013年3月4日 資本金:3,000万円
所在地:岐阜県羽島市舟橋町出須賀2丁目1番地 代表者:種谷 謙一
<http://www.saintparts.co.jp/>

事業理念

高品質な自動車保有関連サービスと資源の有効活用を世界に浸透させる

- お客様、取引先、従業員すべてに利益を提供できる事業運営を目指します
- 世界規模での循環型社会形成を通じ、使い捨て社会の見直しに繋がります
- 世界中の人々が安くて安心な自動車保有サービスが受けられる社会の構築に繋がります

2013年3月 会社設立
2013年9月 工場操業開始
2015年1月 タンザニア子会社設置
2015年4月 タンザニアでの中古部品直接販売開始
2017年2月 ロシアでの中古部品直接販売開始
2018年4月 タンザニアに支店設立 整備事業開始

沿革

- ・自動車解体
- ・自動車用中古部品輸出販売
- ・中古車輸出販売
- ・自動車整備

事業内容

👉 海外での事業展開を主眼に設立した会社

当社にとっての海外事業の意義

1. 日系自動車メーカーの弛まぬ努力により確立された日本車ブランド
→日本は中古車輸出大国(年間約150万台)
2. 世界中の自動車が存在する国では補修部品が必要
→新車未普及の国々における不安定な補修部品のサプライチェーン
3. 日本が良質かつ安価な中古部品の発生源であることは不変
→12メーカーが集中する島国ならではの特徴
4. 中東系外国人により形成された中古部品の世界的流通市場
→日系企業との連携を進めることで変革の余地大

➡ 海外のお客様、日系関連事業者様、自社それぞれにメリットのある事業推進が可能

進出先としてのタンザニアの魅力

1. 拡大が見込まれる消費市場

⇒増加する人口、発展する経済

2. アフリカ内陸部も視野に入れたビジネス構築が可能な立地

⇒港を擁する大都市ダルエスサラームと、そのダルエスサラームを起点に構築される内陸部への物流網

3. 国民性に起因する治安の良さ

⇒駐在スタッフに対する快適な生活環境の提供

4. 日本製品への親しみと信頼

⇒確立された日本車市場が形成する日本製品へのイメージ

タンザニアでの自社の取り組み

日本人スタッフ3名、現地スタッフ20名で事業展開中

- 自社工場由来の自動車用中古部品、高品質な自動車用新品部品の日本からの直送販売
- 日本人自動車整備士が駐在し監修する自動車整備工場の展開
- 日系中古車輸出企業と連携した、中古車購入者に対するアフターサービスの提供
- 日本製自動車関連用品の提供（オイル・タイヤ・その他用品）
- 日系企業と連携した保税倉庫運營業務（2022年初夏開始予定で許可申請手続き中）
- 日用品ショップ（日本の100円ショップ）の運營業務（2022年5月開始予定で準備中）など

整備士育成上の課題

- 電子制御車の修理、センサーや電気の流れ方など基本的な電気知識が不足
- 故障探求など頭の中で推測しながら修理箇所を特定することを苦手としている
- 5Sなど工具、部品の整理整頓の重要性の理解不足
- 時間管理の重要性や仕事効率向上の改善意識の希薄

これまでの取り組み

- 3名の現地スタッフを短期ビジネスビザで自社工場へ招聘
→日本での事業理解を深めてもらうことにより就業意識を高める
- 職業訓練学校からのインターン生受け入れ・学校内での講座や先生への技術提供
→実務経験を通じて良質なスタッフを確保・タンザニア国内の整備レベル向上に寄与
- ユーザーへの定期メンテナンスの重要性、良質部品の使用の利点などの説明・普及
→高品質オイルなどの使用で車両寿命の高寿命化や、リスク回避と安全への理解を普及
など

今後の整備士育成計画

- タンザニア国内主要都市への整備工場展開
→日系他社との連携余地を拡げる
- ハイブリッド車を含めた新技術への対応が可能な整備士を育成
→自社工場の付加価値を向上させる
- 自社から独立する整備士を育成
→タンザニアにおける自社の影響力を拡大

これらを通じ、本業である自動車部品および用品販売事業に還元できる整備工場網を構築する